

アドバンスト生物

責任者・コーディネーター	生物学科 三枝 聖 講師		
担当講座・学科(分野)	生物学科		
担 当 教 員	三枝 聖 講師		
対象学年	1	区分・時間数	講義 21 時間
期 間	前期		

・学習方針（講義概要等）

アドバンスト生物は高等学校生物履修者、および大学受験科目として生物を選択したなど、履修相当の知識を有する学生を対象とする医歯薬共通科目である。医歯薬分野において生物学の知識は必須である。高等学校生物では広汎な分野を扱っているものの、習得した知識は各学部科目の講義を理解するうえで必ずしも充分とは言い難い。本科目は、高等学校生物と各学部専門科目との関連や連続性に配慮しつつ、3学部に通して必要と思われる項目を中心に学習する。これにより、高等学校生物で学習した内容を補充しつつ、医療系大学学生に必要と思われる生物学・生命科学の基礎的内容を学習し、専門科目の導入部に相当する基礎知識を習得する。

・一般目標（GIO）

細胞生物学・分子生物学の基礎的事項のなかから、序盤に細胞の構造・細胞小器官について高等学校生物を復習しつつ、細胞膜を介した物質輸送（選択的透過性）を中心に、細胞膜の構造・機能を学習する。中盤には遺伝の根幹である細胞分裂・細胞周期について概説したのち、染色体・遺伝子・セントラルドグマ・遺伝子発現について段階的に学習する。終盤には免疫（非特異的生体防御・特異的防御）の概要を学習する。講義全体を通じて、高等学校生物の知識を再確認・整理しながら、各学部専門科目を理解するうえで有用と思われる知識を習得し、専門科目受講への円滑な移行を支援することを目標とする。

・到達目標（SBO）

1. ウイルス・原核細胞・真核細胞の共通点・相違点を理解できる
2. 細胞小器官を挙げ、それぞれの機能を概説できる
3. 細胞膜の構成成分を列挙し、それらが構築する基本構造を説明できる
4. 細胞膜を介した物質輸送を分類し、説明できる
5. 細胞周期の各期について理解し、細胞分裂の過程を説明できる
6. ヒトの核型分析について基礎的事項を理解できる
7. ヒトの遺伝子について概説し、セントラルドグマの各過程を説明できる

8. 遺伝子発現調節について概説できる
 9. 遺伝子増幅技術を挙げ、方法・原理を説明できる
 10. 非特異的生体防御と特異的生体防御機構を分類し、概説できる

・ 講義日程

【(矢) 西 1-A 講義室】

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容
4/16	水	2	生物学科	三枝 聖 講師	細胞：生命の最小単位
4/23	水	2	生物学科	三枝 聖 講師	細胞膜の構造
4/30	水	2	生物学科	三枝 聖 講師	細胞膜の機能
5/7	水	2	生物学科	三枝 聖 講師	細胞周期と細胞分裂
5/14	水	2	生物学科	三枝 聖 講師	染色体と核型分析
5/21	水	2	生物学科	三枝 聖 講師	遺伝子の構造
5/28	水	2	生物学科	三枝 聖 講師	DNA の複製
6/4	水	2	生物学科	三枝 聖 講師	セントラルドグマ 1：転写
6/11	水	2	生物学科	三枝 聖 講師	セントラルドグマ 2：翻訳
6/18	水	2	生物学科	三枝 聖 講師	遺伝子発現の調節
6/25	水	2	生物学科	三枝 聖 講師	遺伝子工学の基礎
7/2	水	2	生物学科	三枝 聖 講師	生体防御・免疫
7/9	水	2	生物学科	三枝 聖 講師	細胞性免疫・体液性免疫
7/16	水	2	生物学科	三枝 聖 講師	免疫と疾患

・教科書・参考書等

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	ZERO からの生命科学改訂 3 版	木下 勉 他	南山堂	2010
参	Essential 細胞生物学原著第 3 版	Alberts 他	南山堂	2011
参	レーヴンジョンソン生物学 原著第 7 版 [上]	Raven 他	培風館	2006
参	レーヴンジョンソン生物学 原著第 7 版 [下]	Raven 他	培風館	2007

・成績評価方法

試験 80%，出席・態度 20%の配分とし，総点を 100 点として総合的に評価する

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	ビジュアルプレゼンター (XGA)	1	講義資料供覧
講義	書画カメラ・DVD プレーヤーセット	1	講義資料供覧
講義	デスクトップパソコン (EPSON・AY311S)	1	講義資料作成、他
講義	ノートパソコン (Mac Mini MC270J/A)	1	講義資料作成、他
講義	複合機一式 (Canon・Image Runner iR2230F)	1	講義・実習等の資料印刷